

## 第10回定期総会報告



6月10日、定期総会がおこなわれ、すべての議案が承認されました。

出席状況 正会員数 22名 出席 13名 委任状提出 9名

新会員 ビッグイシュー静岡読者会 大滝正さん



### 《監査意見》

令和3年度の事業について、金川、岩原両監事より

コロナ禍によりデジタル化が一層進んでいるなかで、組織運営の中でICT化を一層進める必要がある。次世代を担う人材の育成が急務である。

指定管理事業に大きく依存している収益構造を多元化していく必要がある。

といった指摘がありました。(全文は議案書に添付)

### 《人材確保について》

総会では、市民活動センタースタッフの入れ替わりがあったことで日々の運営に苦慮しているという現場サイドからの発言もあり、育成ではなく人材「確保」という課題に直面していることがわかります。

会員からは、団体の活動により多くの会員を取り込んでいくこと、学生が地域に出ていくことをバックアップするという構想を持っている大学もあるので活用する、という意見が出ました。

また、センターの人材確保が難しい理由のひとつである職員の待遇に関し、市に対ベースアップを要求すべきであるという発言もありました。この件については理事長から指定管理期間の契約なので難しいというコメントがありましたが、諸経費の値上がり、最低賃金の上昇などが見込まれる中、取り組むべき課題のひとつと言えます。

### 《役員の改選》

任期満了に伴い、役員の改選がありました。

理事	磯谷 千代美	再任
理事	木村 精治	再任
理事	水崎 郁美	再任
理事	望月 健次	再任
理事	望月 裕子	再任
監事	金川 幸司	退任
監事	岩原 雅美	再任
監事	大滝 正	新任

### 《事業計画について》

NPOサポート・しみずの収益は、市民活動センターの指定管理料が多くを占めています。多様な収入源を確保することは団体の安定的運営の要件ですが、指定管理者としての業務に追われているのが実情です。

団体のブランディングのために一層の事業実績の積み上げが必要であり、会員以外も事業に関わる機会を作っていこうと考えており、多様な事業に取組みたいと考えています。なお、令和3年度末から福祉事業団体(※)との連携の準備が始まり、具体的な協働事業に向けて話し合いがおこなわれています。

福祉事業団体：ろうきん、全労済、福祉基金協会などで組織され、「相互扶助・助け合い」の精神に基づき各組織が連帯・連携しながら、働く人たちの福祉向上をめざして活動しています。

### ありがとうございました！

令和4年3月31日、任期満了を以て退任された金川幸司さんは、平成24年の設立総会以降監事の職を担当され、研究者としての知見に基づいたご意見やアドバイスに、理事会も大変助けられました。公務でお忙しい中、長らくご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

新たに監事に就任された大滝正さんは、

現在、「ビッグイシュー静岡読者会」の中心として、ホームレス問題の解決に取り組む「ビッグイシュー日本」の活動支援のため、雑誌「ビッグイシュー」の認知度アップを図る活動をおこなっています。

